



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年9月3日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山岡 祥記 TEL 078-822-5000
 四半期報告書提出予定日 2021年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の業績 (2021年2月1日～2021年7月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	12,218	5.8	548	—	605	—	145	—
2021年1月期第2四半期	11,547	△17.1	△134	—	△25	—	△195	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	41.47	—
2021年1月期第2四半期	△55.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	22,842	16,711	73.2
2021年1月期	24,039	16,778	69.8

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 16,711百万円 2021年1月期 16,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,250	2.2	1,240	65.0	1,280	48.5	570	61.8	162.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	3,669,226株	2021年1月期	3,669,226株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	152,354株	2021年1月期	153,497株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	3,516,213株	2021年1月期2Q	3,516,081株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束と拡大に伴って国内全域で「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が断続的に繰り返されて、長期にわたり経済活動が抑制されました。ワクチン接種は徐々に進んではいるものの、「デルタ株」の感染拡大により収束の見通しは立たず、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社が属する洋菓子業界におきましても、個人消費は1回目の緊急事態宣言が発出された前年に比べますと一部に持ち直しの動きがみられたものの、感染者数の増加や医療体制の逼迫により、宣言や重点措置が繰り返し発出されたことで移動や外出が抑制され、厳しい状況が続くこととなりました。

当社はこのような環境下にあっても、企業スローガン『こころつながり。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供させていただくことに注力いたしました。また長引くコロナ禍の中で、引き続きお客様や従業員に対する感染防止対策を徹底しながら、生産性の改善、人員体制の最適化、コストの削減、適正在庫の確保に努めました。

売上面につきましては、1月の緊急事態宣言再発出の影響もありバレンタイン商戦は売上が減少したものの、新型コロナ感染拡大の影響を最も大きく受けた1回目の緊急事態宣言時の反動により、当第2四半期累計期間の売上高は12,218百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

損益面につきましては、増収効果に加え、計画的・効率的な生産体制の構築、店舗の人員体制の最適化、経費の削減、売上状況に応じた適正在庫の確保などにより、営業利益は548百万円（前年同期は134百万円の損失）、経常利益は605百万円（前年同期は25百万円の損失）となりました。四半期純利益につきましては、新型コロナの影響を大きく受けた子会社、株式会社鎌倉ニュージャーマンに係る関係会社株式評価損220百万円を特別損失に計上したこともあり、145百万円（前年同期は195百万円の損失）となりました。

しかし、宣言や重点措置が繰り返し発出されて移動や外出が抑制されたことで、コロナ前である第90期（2020年1月期）同期比では、売上高は12.3%減、営業利益は26.4%減、経常利益は22.0%減、四半期純利益は70.1%減であり、依然として新型コロナ感染拡大前の水準には回復しておりません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、前年度のバレンタインが新型コロナ感染拡大の影響が大きく出る前であったこともあり、本年度のバレンタイン専用商品の売上は減少したものの、広範囲にわたり商業施設の休業や営業時間短縮が行われた1回目の緊急事態宣言時の反動や、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オ ブール」の新規出店などにより、売上高は0.6%増となりました。しかし、コロナ前である第90期（2020年1月期）同期比では、宣言や重点措置が繰り返し発出されたことにより人流が抑制されたことで、中元を含むギフト商品や土産商品等が低迷し、14.0%減となりました。

洋生菓子につきましては、「カスタードプリン」、期間限定商品「とろ生チーズケーキ」、昨秋リニューアルした半生菓子「ブロードランド」などの好調に加え、創立90周年を記念したキャンペーンの実施や新商品「プリンとチーズケーキ」の発売効果もあり、売上高は前年同期比で21.8%増となりました。また、コロナ前である第90期（2020年1月期）同期比では、ステイホームに伴う自家需要もあったことから、1.8%減まで回復いたしました。

その結果、当事業の売上高は11,664百万円（前年同期比5.4%増）となりました。しかし、コロナ前である第90期（2020年1月期）同期比では、売上高は11.2%減となっております。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により外出や移動の自粛が求められましたが、前年同期の商業施設の休業や営業時間短縮による落ち込みが大きかったことから、売上高は前年同期を上回る554百万円（前年同期比15.2%増）となりました。しかし、コロナ前である第90期（2020年1月期）同期の売上高対比では30.6%減となっており、依然として厳しい状況が続いております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,196百万円減少し、22,842百万円となりました。資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加額2,454百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,631百万円、商品及び製品の減少額1,293百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,129百万円減少し、6,131百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額843百万円、支払手形及び買掛金の減少額117百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ67百万円減少し、16,711百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額65百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ2,454百万円増加し、当第2四半期会計期間末には5,871百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益、減価償却費の計上、売上債権の減少、たな卸資産の減少、仕入債務の減少、法人税等の支払額の増加等により、2,870百万円の収入（前年同四半期累計期間は2,097百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出、その他の減少等により、203百万円の支出（前年同四半期累計期間は403百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、212百万円の支出（前年同四半期累計期間は175百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月27日に発表いたしました2022年1月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,417,188	5,871,238
受取手形及び売掛金	5,671,457	3,040,283
商品及び製品	2,051,132	757,232
仕掛品	325,788	923,977
原材料及び貯蔵品	373,282	389,541
その他	188,294	262,660
貸倒引当金	△22,660	△12,410
流動資産合計	12,004,482	11,232,524
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,537,767	2,440,292
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	1,873,855	1,743,898
有形固定資産合計	7,645,962	7,418,529
無形固定資産		
	120,020	103,698
投資その他の資産		
投資有価証券	1,626,061	1,620,939
その他	2,648,220	2,468,064
貸倒引当金	△5,240	△1,190
投資その他の資産合計	4,269,041	4,087,814
固定資産合計	12,035,024	11,610,042
資産合計	24,039,507	22,842,567

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,631	808,995
電子記録債務	1,706,124	862,545
短期借入金	1,850,000	1,850,000
未払法人税等	283,561	256,780
賞与引当金	224,210	224,210
その他	1,615,865	1,464,119
流動負債合計	6,606,392	5,466,652
固定負債		
退職給付引当金	74,677	77,689
環境対策引当金	2,085	—
その他	577,844	586,888
固定負債合計	654,607	664,577
負債合計	7,261,000	6,131,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,919	3,918,352
利益剰余金	9,052,595	8,986,940
自己株式	△665,080	△660,380
株主資本合計	16,046,903	15,982,380
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	441,465	438,818
土地再評価差額金	290,138	290,138
評価・換算差額等合計	731,604	728,957
純資産合計	16,778,507	16,711,337
負債純資産合計	24,039,507	22,842,567

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	11,547,198	12,218,859
売上原価	6,202,227	6,274,316
売上総利益	5,344,971	5,944,543
販売費及び一般管理費	5,479,761	5,396,402
営業利益又は営業損失(△)	△134,790	548,140
営業外収益		
受取利息	2,025	2,975
受取配当金	22,370	21,497
保険解約返戻金	77,084	—
その他	25,419	49,410
営業外収益合計	126,899	73,884
営業外費用		
支払利息	13,606	14,506
その他	3,653	2,476
営業外費用合計	17,259	16,983
経常利益又は経常損失(△)	△25,150	605,040
特別利益		
雇用調整助成金	57,040	—
特別利益合計	57,040	—
特別損失		
固定資産除売却損	3,001	15,801
関係会社株式評価損	—	220,663
投資有価証券売却損	10,009	—
減損損失	80,600	3,804
従業員休業補償等	137,094	—
特別損失合計	230,706	240,269
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△198,816	364,771
法人税、住民税及び事業税	41,399	195,209
法人税等調整額	△44,709	23,750
法人税等合計	△3,309	218,959
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195,506	145,811

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△198,816	364,771
減価償却費	396,303	362,476
減損損失	80,600	3,804
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,550	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,622	3,011
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△262,652	△33,761
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,100	△14,300
支払利息	13,606	14,506
受取利息及び受取配当金	△24,396	△24,473
投資有価証券売却損益 (△は益)	10,009	—
関係会社株式評価損	—	220,663
固定資産除売却損益 (△は益)	3,001	15,801
売上債権の増減額 (△は増加)	2,906,453	2,631,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	892,931	679,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,287,643	△961,214
その他	△362,934	△186,079
小計	2,168,534	3,075,831
利息及び配当金の受取額	22,521	26,498
利息の支払額	△13,633	△14,724
法人税等の支払額	△79,850	△217,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,097,572	2,870,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	490,000	—
有価証券の取得による支出	△299,977	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,199,979	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△370,210	△187,487
投資有価証券の取得による支出	△2,830	△2,808
投資有価証券の売却及び償還による収入	55,541	0
その他	△668,768	△13,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	403,733	△203,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,224	△1,427
配当金の支払額	△174,599	△211,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,824	△212,906
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,325,481	2,454,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,581	3,417,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,142,063	5,871,238

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定について、重要な変更はありません。

3. 補足情報

販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	11,664,473	105.4
(内訳)		
干菓子群 (千円)	8,327,825	100.6
洋生菓子群 (千円)	2,951,894	121.8
その他菓子群 (千円)	384,754	105.6
喫茶・レストラン事業計 (千円)	554,386	115.2
合計 (千円)	12,218,859	105.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) サマーロイヤルタイム、サマーイング、ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。